

## 質問回答書

件名 令和8年度 横浜市学力・学習状況調査 データ入力・処理委託

No.	項目	質問内容	回答
1	2 調査実施マニュアル等の作成・配送 (仕様書 13 ページ)	Google アカウント一覧表の各学校への送付方法について、メール等によるデータ送付となりますでしょうか。	各学校の組織メールアドレス宛に、データでお送りいただくことを想定しています。
2	3 (2)調査問題の修正 (仕様書 14 ページ)	問題修正については「修正があった場合」とありますが、可能性として、修正が発生する分量の目安(全体の何%程度、など)や修正する内容(軽微な文字修正のみなのか、それともレイアウトや図版を含めた修正が発生するのか、など)についてご教示いただくことは可能でしょうか。	<p>調査問題については、本件の契約締結前までに、MEXCBT への搭載及び委託者による校正が完了しているため、修正が発生する分量は、0～数問程度と考えています。</p> <p>また、修正する内容については、軽微な文字修正程度を想定しており、レイアウトや図版を含めた修正は発生しないものと考えています。</p> <p>参考として、令和7年度調査での修正対応の実績を提示します。なお令和7年度調査においては PBT 実施も併用していたため、想定より修正対応問題数が多くなっています。</p> <p>【参考】令和7年度修正対応数 (全問題数に対する割合)</p> <p>合計:16 問(2.4%)</p> <p>内訳 選択肢ボックスの大きさ修正 2 問 (0.3%)</p> <p>ルビ修正 7問(1.1%)</p> <p>問題文テキスト修正 4問(0.6%)</p> <p>資料図版差替え 3問(0.5%) (※図版の修正ではない)</p>
3	3(3)調査問題の配信設定 (仕様書 14 ページ)	自動採点等の設定について触れられていますが、記述式問題は含まれますでしょうか。その場合、類型判断は従来通り学校側で行うこととなりますでしょうか。また、学校側で判断した類型を収集する方法について、現状の想定をご教示いただけますと幸いです。	記述式問題はございません。
4	5(1)IRT 分析のためのシステム要件 (仕様書 15 ページ)	これまで分析に使われてきた R や Cygwin のスクリプトをお借りすることはできるでしょうか。	過去分のスクリプトにつきましても貸与可能です。

5	5(1)IRT 分析のためのシステム要件 (仕様書 15 ページ)	“原則として「同時推定」により垂直尺度化を行う”とのことでしたが、IRT 分析マニュアルには、2026年より「個別推定」に移行することを示唆する記述がございました。今年度においても、「同時推定」を想定してよろしいでしょうか。	原則として「同時推定」を想定していますが、同時推定による推定が何らかの理由によりできなかった場合、個別推定を行う可能性があります。個別推定を行うためのスクリプトは、別途貸与します。
6	5(2)IRT 分析の実施 (仕様書 16 ページ)	R や Cygwin のスクリプトの修正等を行ったもの、また作業フォルダ等は、納品対象という認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。 仕様書 18 ページの6(2)イ(ア)委託者への納品物についての「その他、委託業務の過程で作成し、委託者から提出を求められた物」として納品をお願いします。
7	5(2)IRT 分析の実施 (仕様書 16 ページ)	等化処理のため、過年度のデータも受領するものと認識していますが、分析手順の確認の目的のため、過年度の作業フォルダを含めて受領することは可能でしょうか。	可能です。
8	7コールセンターの設置及びデータ修正対応 (仕様書 18～19、228～233 ページ)	誤った Google アカウントで調査を実施したことによる帳票・過年度データ等の修正について、パターンとして挙げられている①～③の発生件数実績をご教示いただけますでしょうか。	①42 件 ②4件 ③3件 です。
9	8調査結果報告書の作成 (仕様書 19 ページ)	想定ページ数及び台割や構成をご教示いただけますでしょうか。	60～70 ページ程度を想定しています。 具体的な構成については、契約後に委託者と協議の上、決定します。大まかな想定は次のとおりです。 1 横浜市学力・学習状況調査の概要 2 結果の概要(横浜市全体の傾向) ①正答率が特に高い設問(学年、教科(全教科)ごと) ②正答率が特に低い設問(学年、教科(全教科)ごと) ③学力レベルが伸びている児童生徒の正答率が特に高い設問(学年、教科(国語、算数・数学、外国語)ごと) ④学力レベルが伸び悩んでいる児童生徒の誤答率が特に高い設問(学年、教科(国語、算数・数学、外国語)ごと) ⑤正答率と有意な相関関係が見られる生活・学習状況調査の設問 ⑥学力レベルと有意な相関関係が見られる生活・学習状況調査の設問 3 調査結果の活用 ・個人結果シートの見方 ・各種帳票の見方 ・学校の特徴や傾向をつかむために ・学校の特徴や傾向から授業改善への活用

10	8調査結果報告書の作成 (仕様書 19 ページ)	横浜市様における校正校閲の想定回数をご教示ください。	校正回数は3回程度を想定しています。
11	8調査結果報告書の作成 (仕様書 19 ページ)	納品形態をご教示いただけますでしょうか。	Word データ(Microsoft Office Word 2019 以降)でお願いします。